

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.21-036
2021年 6月 25日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

近畿2府4県の安保実行委等が申し入れ 日米合同の実動訓練は中止を (オリエント・シールド21)

中部方面隊（伊丹駐屯地）
に申し入れする安保代表



24日、「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」と近畿2府4県の安保破棄実行委員会が共同して、陸自中部方面隊と近畿中部防衛局に対して、日米合同訓練の中止などを求める申し入れ行動を行いました。

23日には今回日米合同訓練が行われる饗庭野演習場で実弾射撃訓練を行っていた自衛隊が120ミリ迫撃砲弾を誤射し、演習場1キロも離れた山林に着弾する事故を起こしています。けが人は出なかったものの大惨事になっていたところでした。

饗庭野演習場では、2015年7月・18年11月・19年9月にも訓練に係わる事故が起きており、申し入れてきたにもかかわらず、またの事故に地元住民の皆さんの怒りは収まりません。

しかも、今回の日米合同訓練は実施のわずか8日前に発表され、地元住民説明会が行われたのも前日の9日です。その上、訓練にオスプレイが参加しないという理由で一般住民などは参加させず、区長のみへの説明でした。

申し入れに訪れた中部方面隊ではちょうど合同訓練の「開始式」が行われ、その中で饗庭野演習場での実弾射撃訓練は今回行わないということが言われました。

申し入れでは、饗庭野での訓練全体を中止し、他の演習場や駐屯地などで計画されている合同訓練の計画すべてを中止すべきだと主張したところでした。

米陸軍との実動訓練（オリエント・シールド21）の中止を求めて6月24日、近畿中部防衛局と陸自中部方面隊に対して近畿2府・4県の安保破棄実行委員会は申し入れ行動を行いました。

安保大阪の守山禎三事務局長の報告を下記に掲載（要旨）します。

この訓練は、北海道の矢臼別演習場、鹿児島県の奄美駐屯地、中部方面の饗庭野演習場（滋賀県）をはじめ伊丹駐屯地（兵庫県）・明野駐屯地（三重県）・経ヶ岬分屯基地（京都府）、Xバンドレーダーが設置されている米軍経ヶ岬通信所を結んで行われる、米陸軍と陸自による領域横断作戦の相互連携要領を具体化するために行われるものです。4月の日米首脳会談で示されたとおり、日米同盟の抑止力・対処力の強化を実現するため、軍事一体化を進め、対米従属の対中国軍事戦略にまた一步のめり込もうとするものです。



事故当日、横田基地離陸前のオスプレイ

6月14日17時11分頃、米空軍横田基地所属のオスプレイ1機（0075）が飛行中に何らかのトラブルが発生し、山形空港に緊急着陸しました。

横田基地
CV-22
オスプレイ

山形空港緊急着陸に防衛省要請
「飛行停止」を求める
オスプレイ反対連絡会・安保東京

16日には、オスプレイ反対東京連絡会、安保破棄東京実行委員会は、日本共産党宮本徹衆議員と尾崎あや子都議と共に防衛省に対し「飛行停止」を求めるとともに、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が出した、①経過と原因究明②安全確認ができるまでの飛行中止③人員降下訓練との関係④情報の提供に対し回答を求めました。が、東京都と市町連絡会の要請は「上に上げとく」と答え、飛行停止には「米軍に飛行停止を求めることはしない」と答えるなど事態の重さを感じていない様子でした。

今回の2機のCV-22オスプレイは、機関銃を装備し北に向かい飛行していたので、青森県三沢の射撃場で射撃訓練に向かう途中でトラブルが発生したと思われます。引き続きオスプレイの飛行停止、撤去、10機体制反対を政府と米軍に要求し続けていきます。

（岸本正人・安保東京事務局長）

安保破棄東京の岸本事務局長は、横田基地を監視している羽村平和委員会が捉えた、事故当日の離陸前のオスプレイ2機の写真を示し、「機体後部に機関銃を装着している。これはただの飛行訓練と違う」とただし、危険な訓練と低空飛行の禁止を求めました。